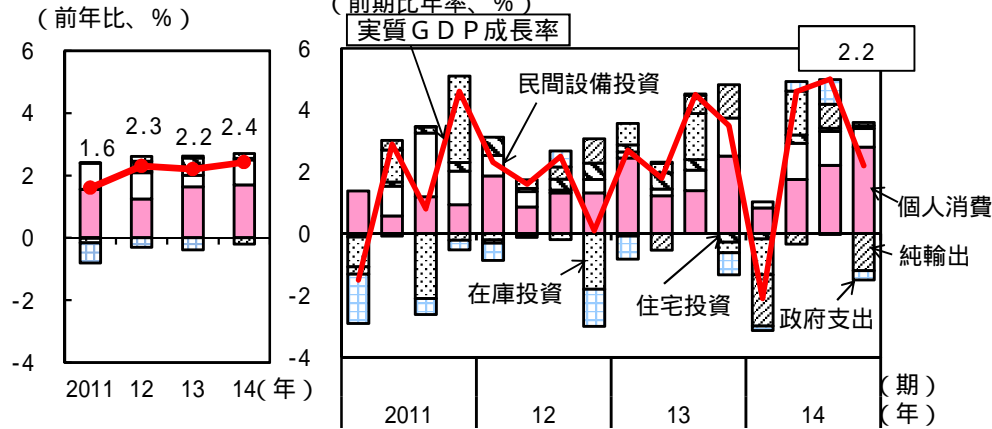


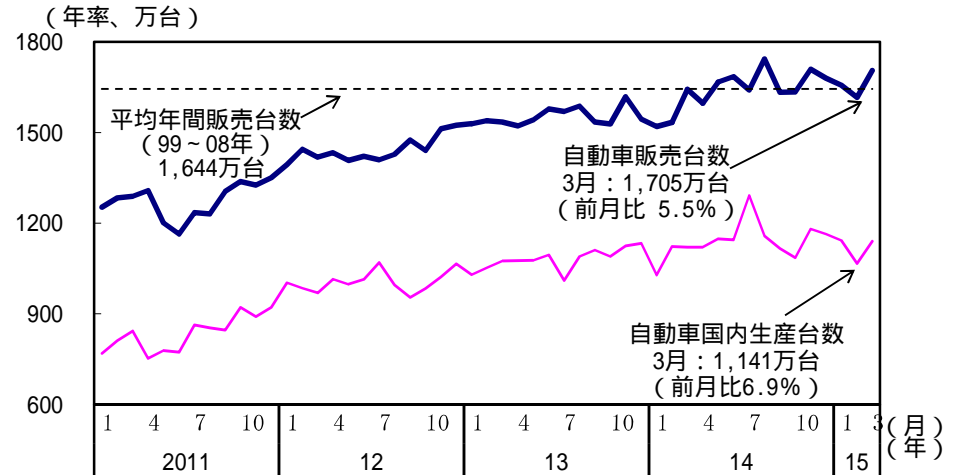
1. アメリカ

アメリカでは、景気は着実に回復している。

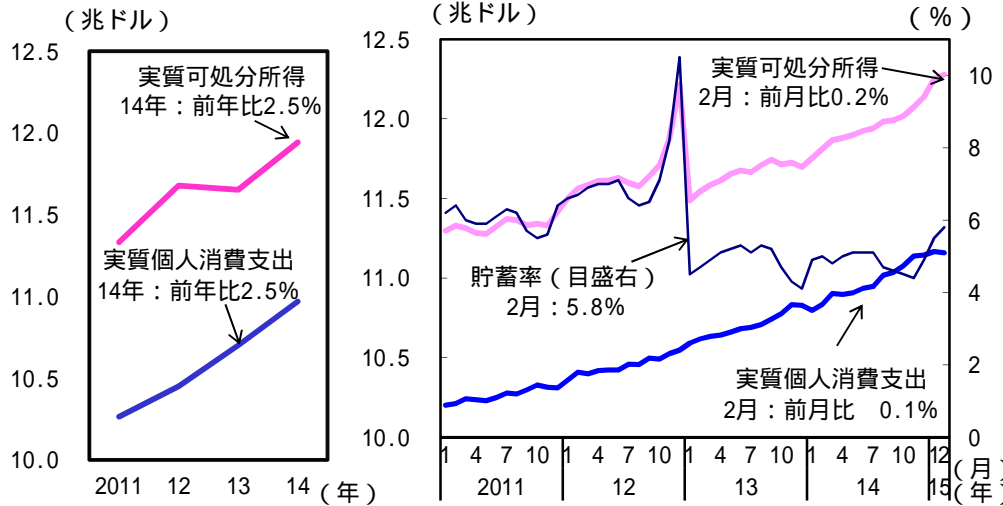
実質GDP成長率（3次推計値）
2014年10 - 12月期は前期比年率2.2%成長



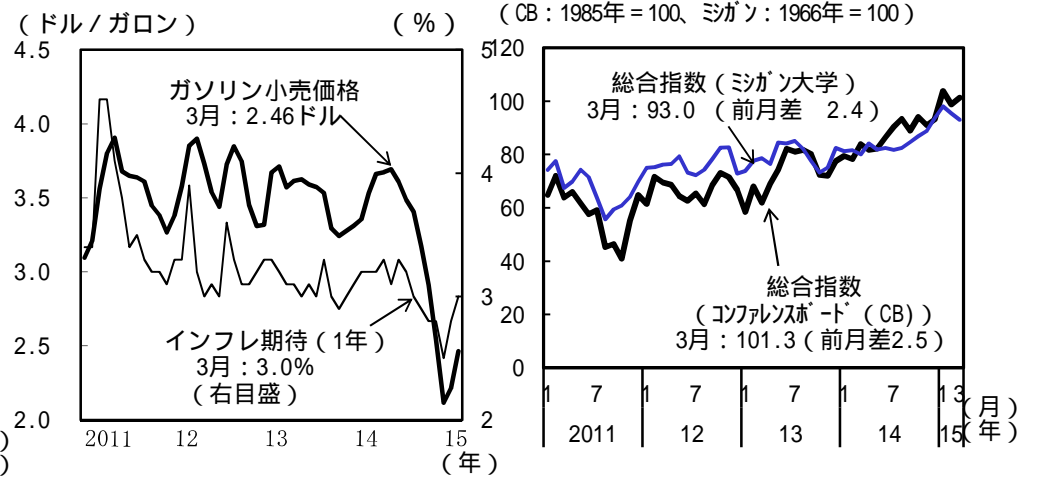
自動車販売台数はおおむね横ばい



消費は増加



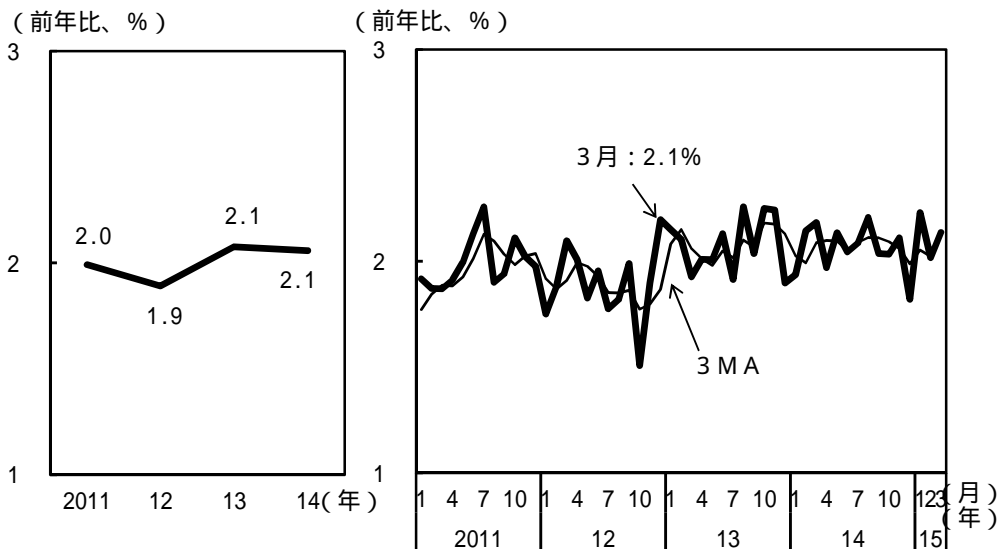
消費者信頼感指数は上昇傾向



（備考）月次の値は年率換算。

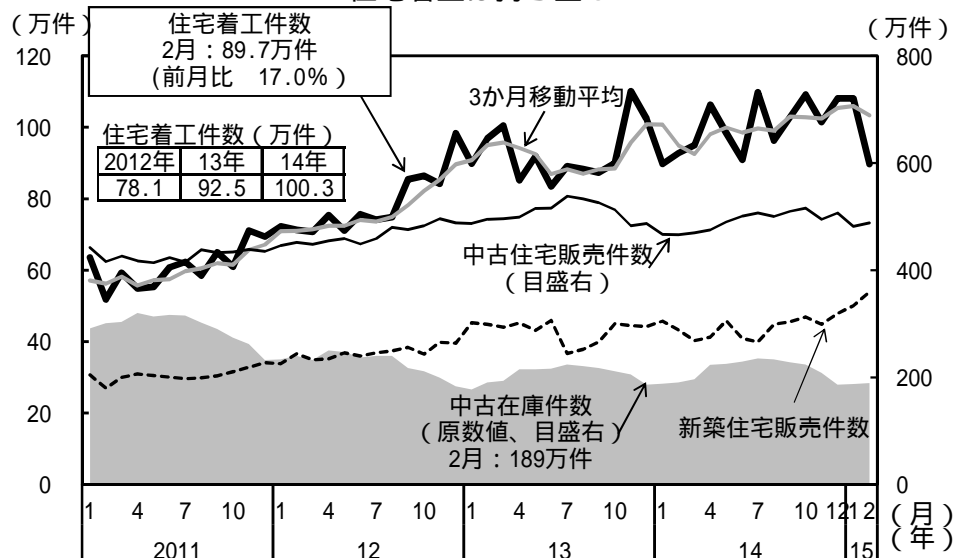
（備考）1.インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。
2.ガソリン小売価格は月平均価格。

賃金の伸びはおおむね横ばい



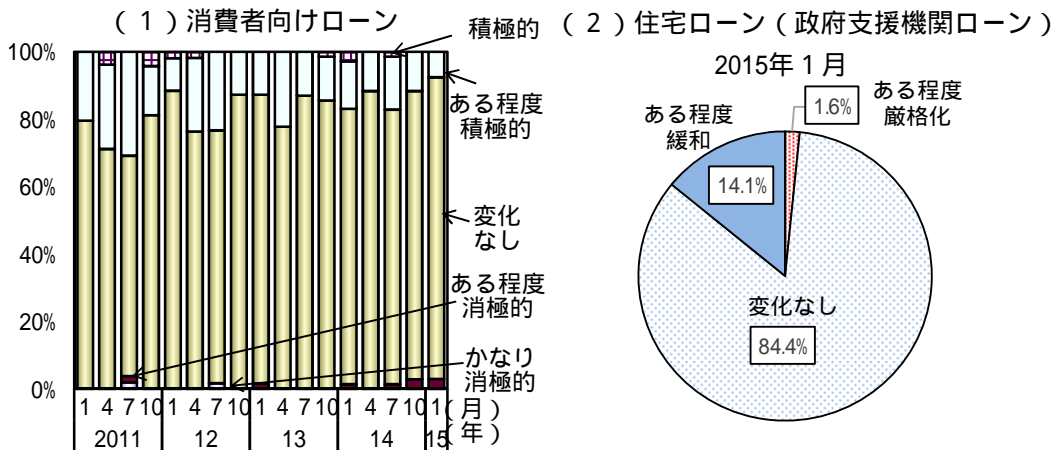
(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

住宅着工は持ち直し



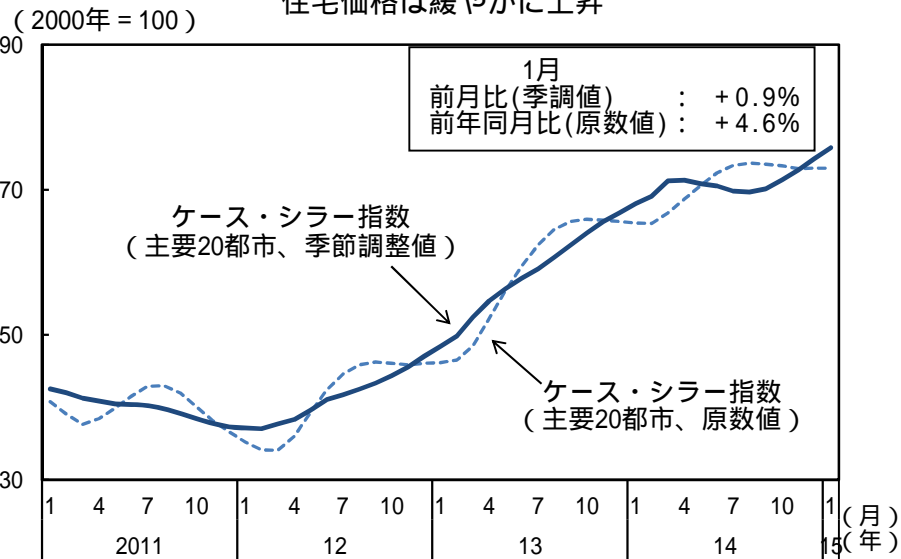
(備考) 1. 住宅着工件数、新築住宅販売件数、中古住宅販売件数は年率換算。
2. 15年2月の販売件数に対する中古在庫の割合は4.6ヵ月分。

金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はわずかに厳格化

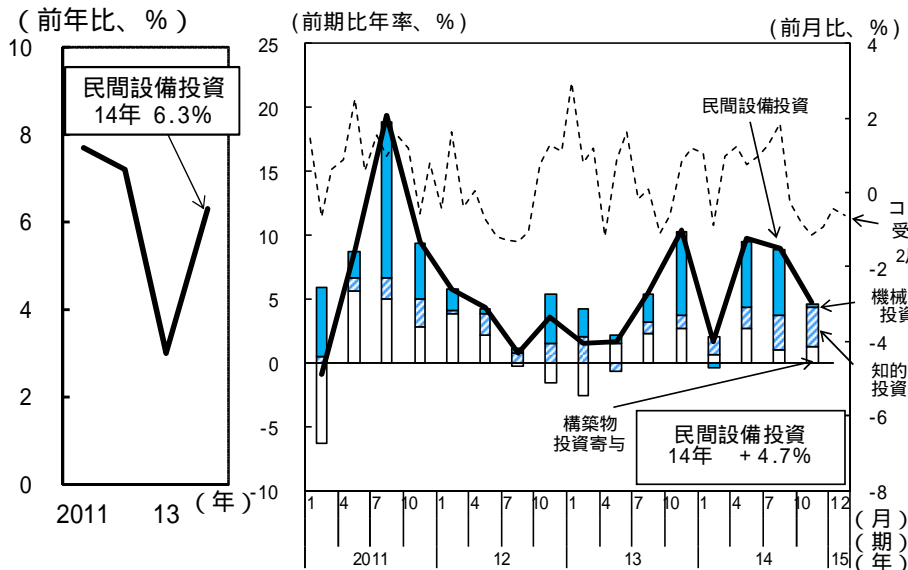


(備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(政府支援機関ローン)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。
2. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。
3. 15年1月より調査対象が変更になったため(2)住宅ローンについては時系列データは存在しない。

住宅価格は緩やかに上昇

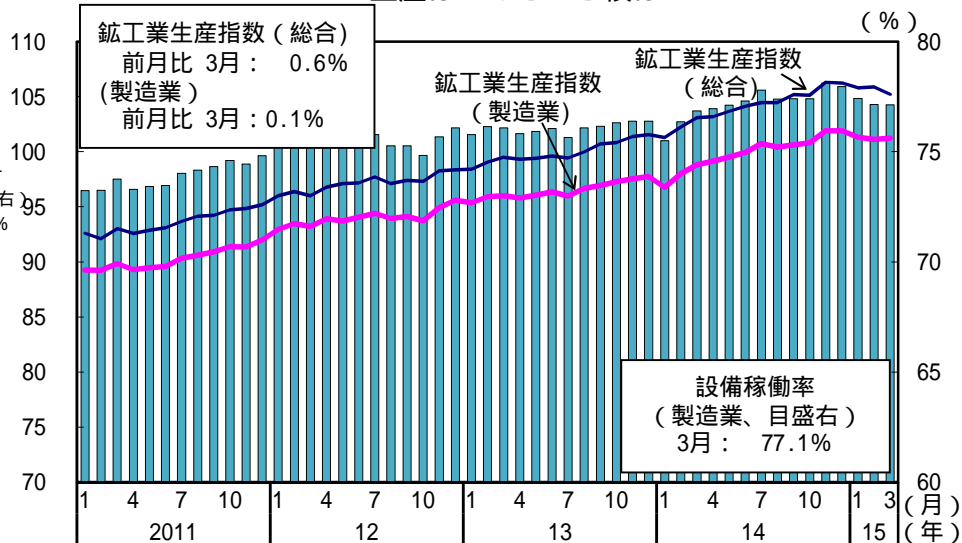


設備投資は緩やかに増加しているものの、一部に弱い動き

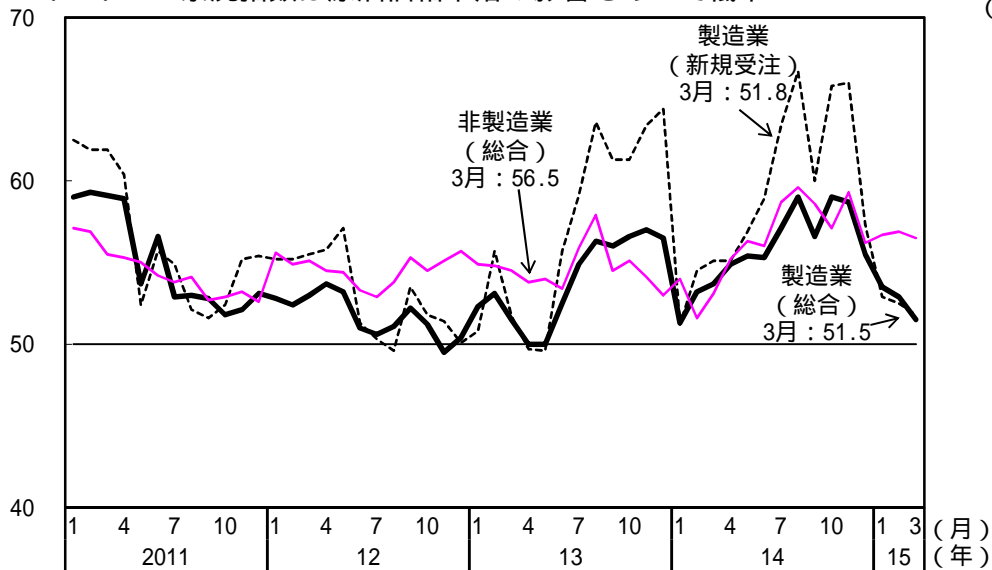


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

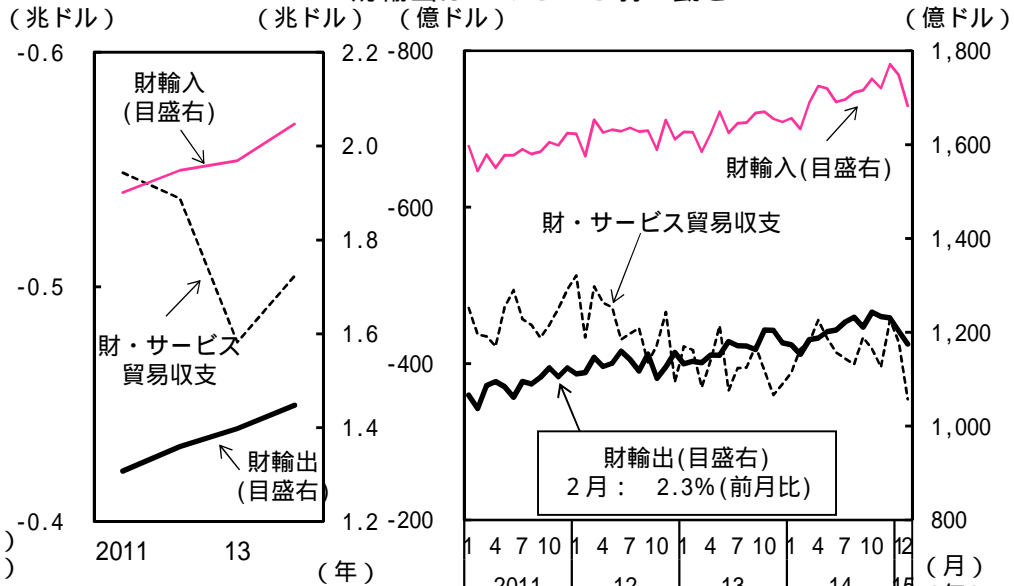
生産はこのところ横ばい



(D.I) 景況指数は原油価格下落の影響もあって低下

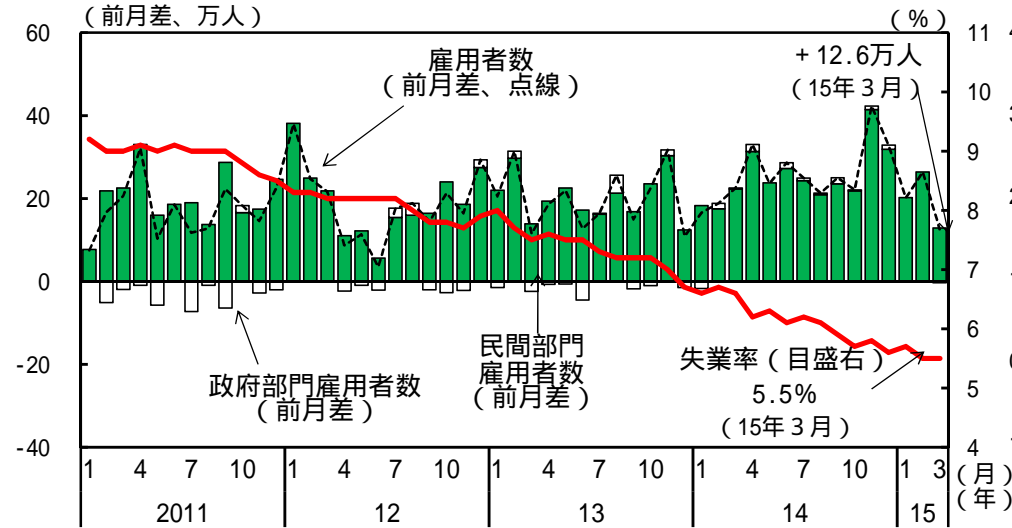


財輸出はこのところ弱い動き



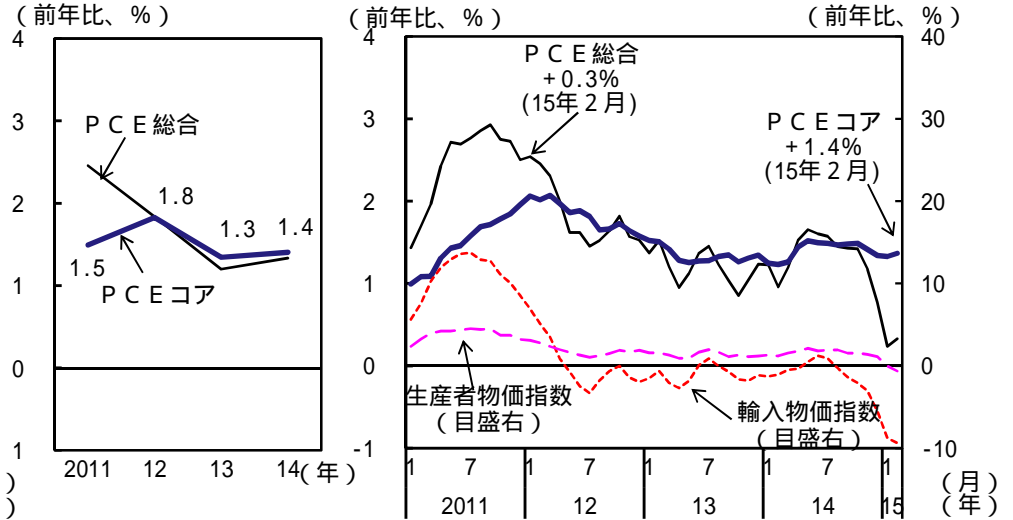
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

雇用者数は増加しており、失業率は低下している



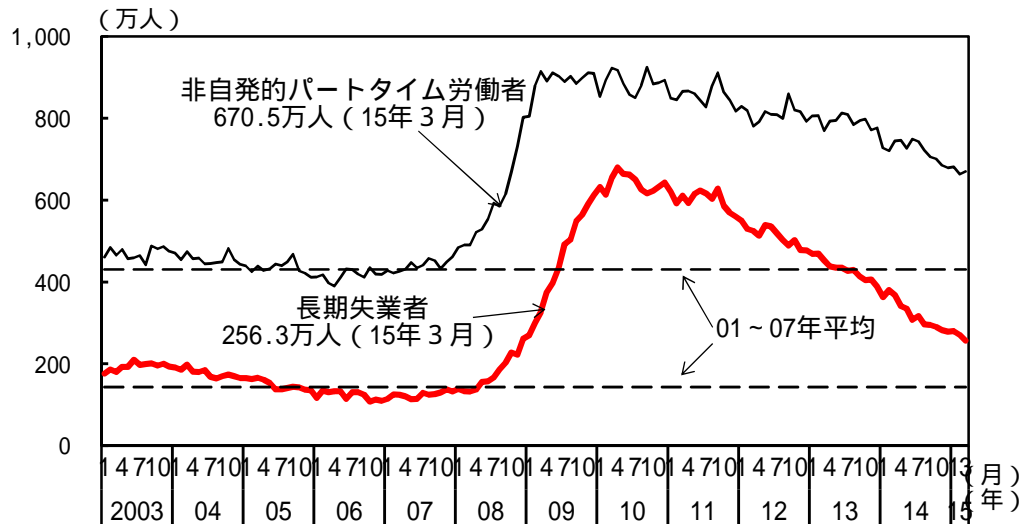
(備考) 雇用者数は非農業部門。

コア物価上昇率はおおむね横ばい



(備考) コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

長期失業者は緩やかに減少



FEDのバランスシート (資産サイド)

